

伏見中学校ブロック(伏見中・伏見板橋小・伏見住吉小・下鳥羽小)小中一貫教育目標

小中9年間で「生きる力」を育む

～9年間で目指す子ども像～

自ら学ぶ意欲と力をもつ
児童・生徒

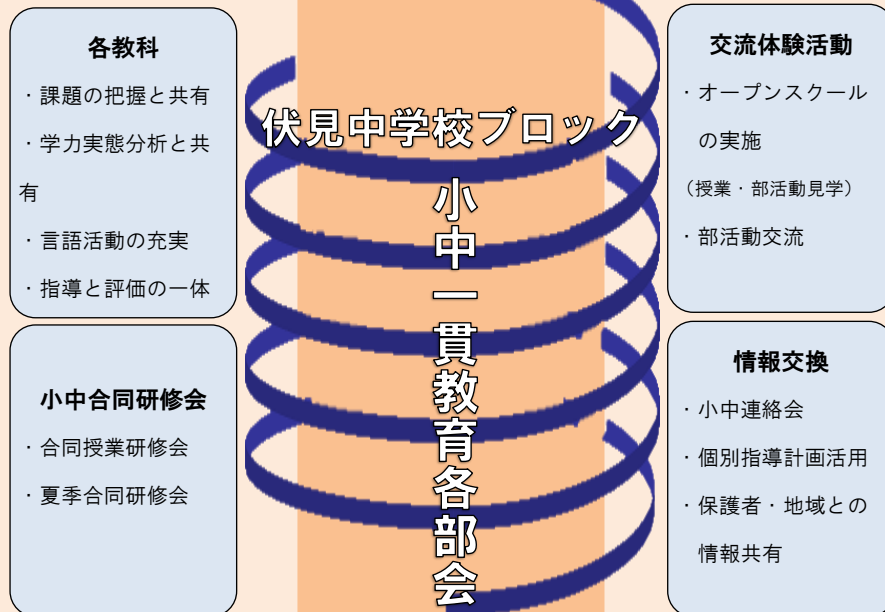
互いを認め、自ら律することのできる
児童・生徒

心身ともに健康で、粘り強い
児童・生徒

核となる取組

『学力向上』

『自尊感情を高め、規範意識の向上』



4校管理職

小中連携主任会【各校教務主任会】

学習指導部会

研究主任
「学習意欲の向上の工夫と学習習慣の徹底」

- ・授業方法や教材についての見直し
- ・家庭学習の習慣化を図る取組の共通理解と実践
- ・テスト前の学習の確立
- ・わかる授業、考える授業、やる気を育てる授業、思考を表現できる授業の実践
- ・道徳教育を通じた自己肯定感の育成

生徒指導部

生徒指導主任
「規範意識や社会性をつけるため、約束やルール、規律などを確実に身につけさせる」

- ・インターネットによる問題行動、いじめ、不登校、保護者対応等の情報共有と対応の検討
- ・いろいろな問題をもった生徒を多方面から支援していく

人権教育部

人権教育主任
「実生活につながる指導内容の工夫」

- ・コミュニケーション能力の育成
- ・指導案の交流
- ・人権学習の参観
- ・人権学習、人権教育における小中共通の課題について検討し、目標等を設定する

総合育成支援教育部

総合育成支援教育主任
「課題解決に向けた指導や支援の工夫」

- ・LD等発達障害の疑いのある児童生徒の現状分析と問題点を共有し、適切な支援のあり方を探る
- ・中学校1年生に入学してくる生徒の具体的な引き継ぎを密にする

事務部会

事務職員
「連携校の課題の解決や教育活動の活性化につながる取組を行う」

- ・チーム制による事務機能の向上